

# 第29回定時株主総会



平成26年9月25日  
プレシジョン・システム・サイエンス株式会社

- **事業報告及び事業方針**
- **報告事項(計算書類)**
- **決議事項**

# ➤ 事業報告及び事業方針



**1, PSSの対処すべき経営課題**

**2, 第29期業績と第30期見通し**

**3, 中期事業計画**

## 1, PSSの対処すべき経営課題

(お手もとの招集ご通知 8～9ページ)

# PSSの対処すべき経営課題

| 項目              | 課題  |
|-----------------|---|
| 1,ラボ自動化分野の事業拡大  | コストダウン要請、性能及び新分野の市場への対応                           |
| 2,臨床診断分野の事業拡大   | 臨床診断用自動化システム製品の開発と国内外の薬事法を含む規制規格対応                |
| 3,試薬事業の拡大       | 売上拡大のために自動化装置中心の売上から、試薬事業による消耗品ビジネスの拡大            |
| 4,OEM事業と自社販売の共存 | OEM(他社ブランド製品を供給)販売取引依存では、提携相手の方針転換や内部事情等の影響を受けやすい |



これら上記経営課題に対処すべく、PSSの事業VISIONに基づいた製品技術の「ブレイクスルー」を起こすために「事業領域の拡大」に取り組んでいます。

# PSSのVISIONとMISSION

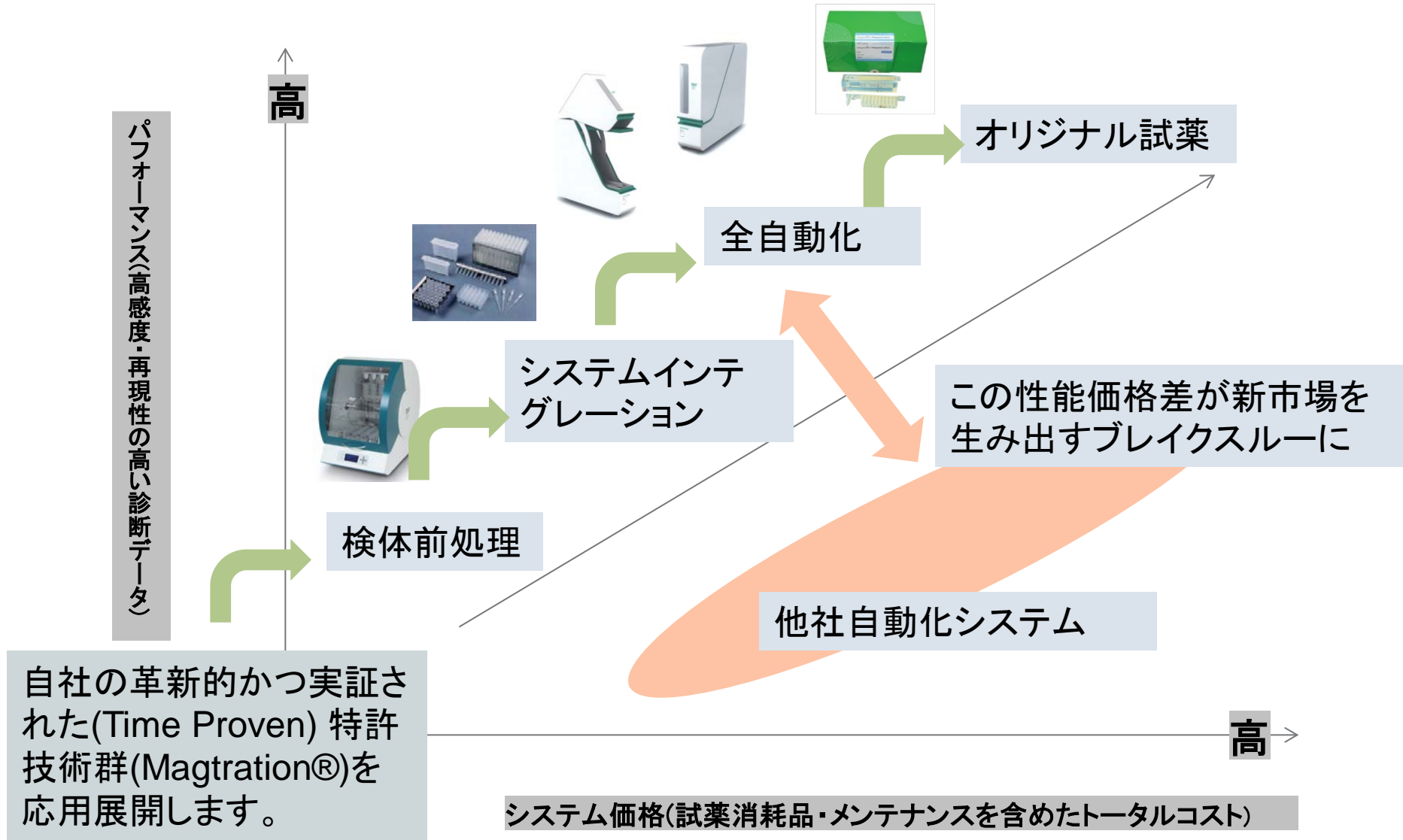
## VISION

- ◆ 遺伝子(バイオ)診断分野において、遺伝子情報を有効活用すべく、「いつでも、どこでも、誰でも」取り扱える自動化システム製品の提供を通じて、事業の成長による社会貢献を目指します。

## MISSION

- ◆ Precision(正確性) System(自動化システム) Science(特許技術)の提供により従来製品では不可能だった費用対効果の高い製品供給によるブレイクスルー(技術革新)するための事業展開を行います。

# PSSが考えるブレイクスルーとは?





# PSSの事業領域の拡大

|       | これまでのPSS                      | NEW PSSにて拡大  |
|-------|-------------------------------|--|
| 製品    | 遺伝子抽出装置                       | 全自動システム・試薬   |
| 主な市場  | ラボ自動化(研究)                     | 臨床診断   |
| 販売網   | OEM(他社ブランド製品を供給)販売            | 自社販売強化(アジア圏、代理店)   |
| 薬事法対応 | 無                             | FDA、CE、厚労省   |
| 製造    | 装置・プラスチック消耗品                  | 試薬(大館試薬センター)   |
| 組織    | 子会社UBRを中心とした研究開発及び製品製造を主とした組織 | 臨床診断システム製造販売のために診断システム開発本部、信頼性保証本部、試薬生産技術部・大館試薬センターを新たに組織化 |

**2,第29期決算(平成26年6月期)と**

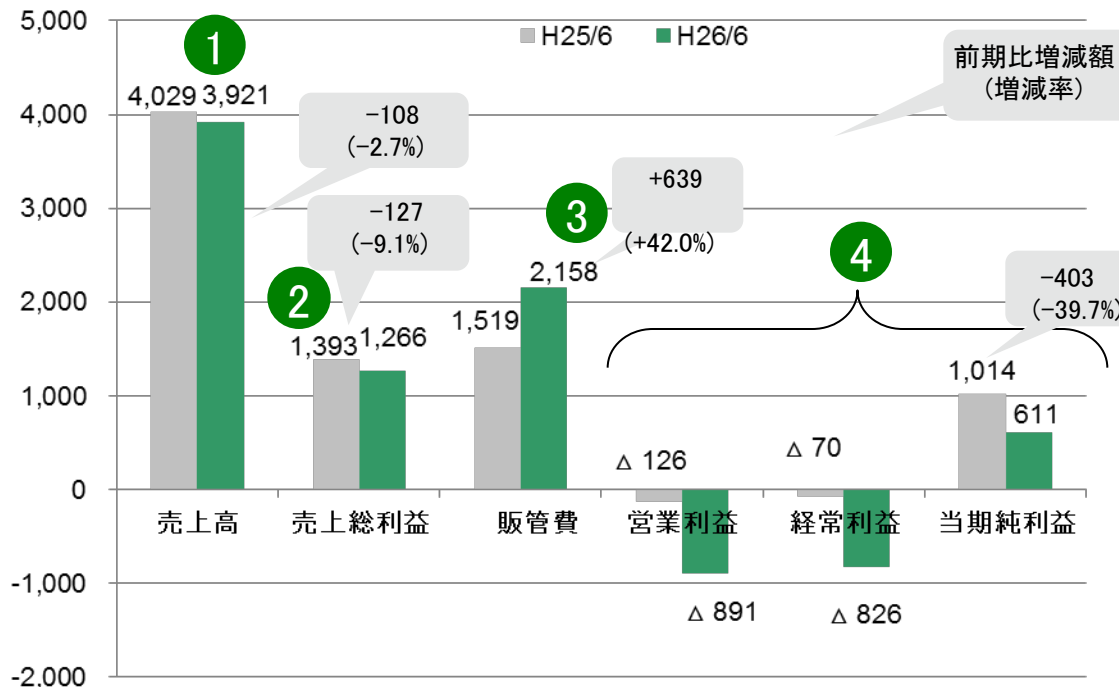
**第30期(平成27年6月期)の見通し**

# 第29期業績

- 研究開発費が約倍増したこともあり、前期比営業及び経常利益の赤字幅が拡大しました。
- 特別利益の実現により、当期純利益は黒字化しました。
- 1株当たり7.5円の配当を実施(連結配当性向22.4%)

## ●第28期(H25/6)業績比

(単位:百万円)



1

### ✓若干の減収

- ①OEM取引全体は前期並みに推移
- ②製造子会社エヌピーエス(株):NPSの外部売上(PSSグループ向け販売を除く)計上するも当初見直しには達しなかったもの。

2

### ✓売上総利益の減少

新規製品の上市のために、追加費用が発生した事によるものです。

3

### ✓販管費の増加

新規製品の開発及び事業化推進のため、人員増加、研究開発費及び特許関連費用の増加を招き、販売費及び一般管理費が大きく増加しました。特に、上市を控えた新製品の開発を加速したことにより、研究開発費はほぼ前期比倍増しました。

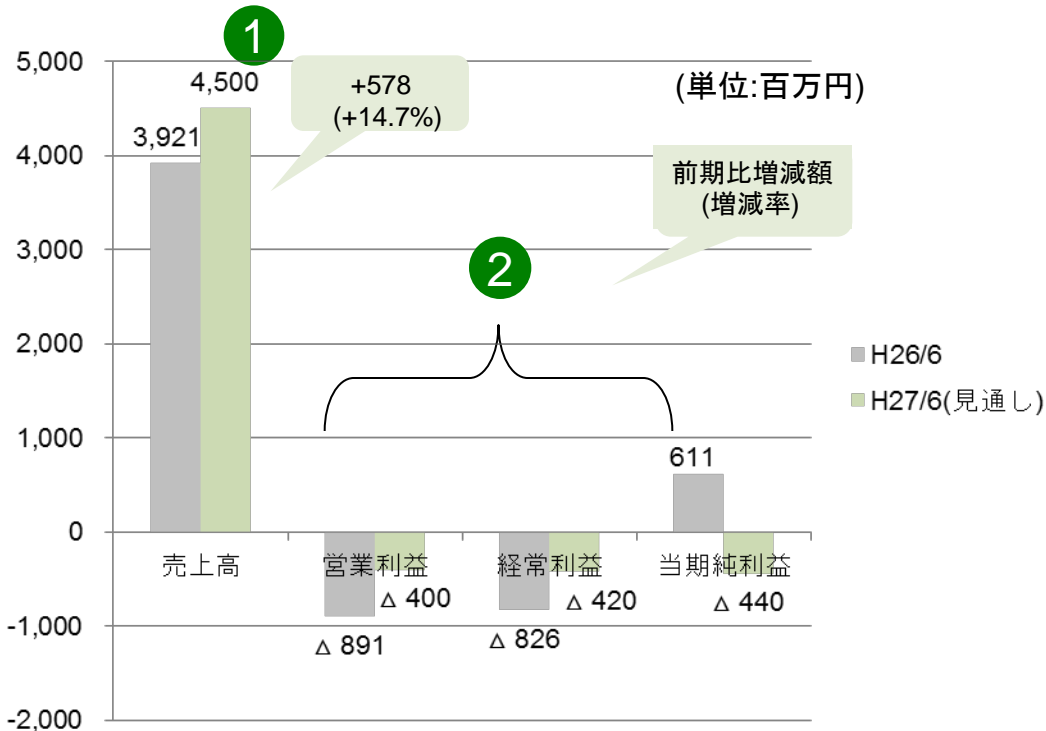
4

### ✓営業及び経常利益は赤字

✓有価証券売却益の実現による特別利益により当期純利益の黒字化及び配当実施  
 バイオコンテンツ投資事業有限責任組合の投資先である株式会社リプロセルが株式上場し、保有株式を売却したことによるものです。それに伴い、特別利益が発生いたしました。

# 第30期通期見通し

- 対前期大幅増収の見込みです。
- 営業利益、経常利益は赤字見通しなるも、赤字幅は対前期大幅の改善見込み
- なお、為替の見通しは、1ドル=100円、1ユーロ=135円にて算定しております。



## ● 第29期(H26/6)業績比

|   |  |
|---|--|
| 1 | ✓ 売上拡大:①エリテックグループとの提携による geneLEADの販売展開(DNA抽出試薬含む)②アボットグループ向けの検体前処理システム(2機種)の開発及び製品販売 |
| ○ | ✓ 売上総利益改善:製造子会社NPSを中心とした製造委託先との協力のもとに製造原価の改善に継続的に努めます。                               |
| ○ | ✓ 販管費改善基調:新規製品の開発及び事業展開に備えた開発費等の第29期からの増加基調を第30期上半期まで見込んでおり、下半期にはその増加基調は解消する見通しです。   |
| 2 | ✓ 業績は赤字の見通し:対前期増収見込みも上半期の費用増加要因を賄う事ができず、業績は赤字の見通しです。但し、営業及び経常利益の赤字幅は前期比改善の見込みです。     |

### 3, PSS中期事業計画(平成27年6月期～平成29年6月期)

- ・中期事業計画の修正
- ・進捗状況

## 中期事業計画の修正について

- PSSは、新製品開発状況と市場動向を鑑みて、当初平成25年8月9日に中期(3か年)事業計画を発表しました。
- 残念ながら、初年度(平成26年6月期)より当初見込んでいた予想以上の追加費用が発生した事により、売上・利益計画等の数値目標の達成が困難になり、今回計画の見直し作業を行いました。
- しかしながら、会社の運営方針やビジネスの方向性は、市場のトレンドに合っている事から、ビジネスモデルの変更は行わず、数値目標の再検討をしたものです。

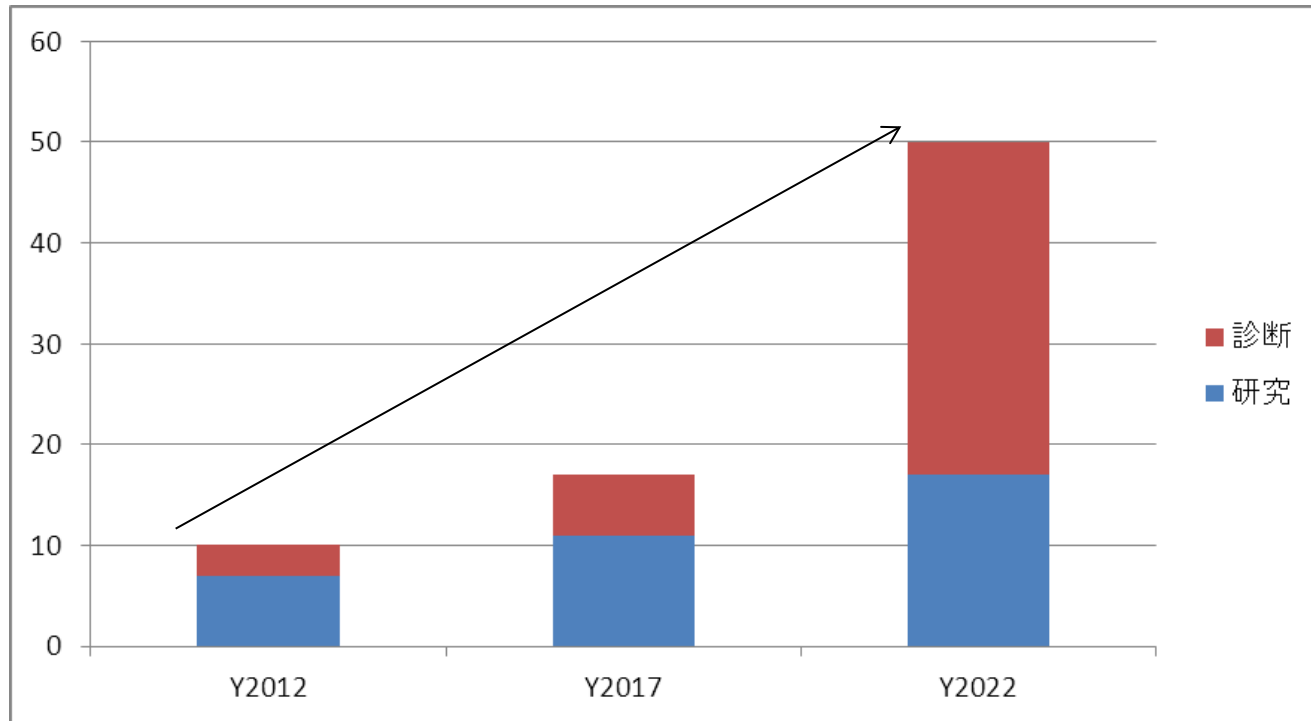
# 中期事業計画のポイント

- **中期事業計画(平成27年6月期～平成29年6月期)**  
3か年計画(損益計算書、分野別売上)
  
- **遺伝子診断市場動向**  
従来の研究用途中心から臨床診断用途へシフト
  
- **PSSの事業分野・戦略**
  - ラボ(臨床研究)自動化分野から臨床診断分野に本格展開
  - 装置中心から試薬も含めた新規製品の追加により、事業成長を加速させる。

# 市場トレンドの変化の確認

■ 遺伝子診断市場の利用目的が、臨床研究から診断用途向けに変化のトレンドを示しています。しかしながら、臨床研究市場も着実な成長市場です。

単位: Billion USD(約1,000億円)



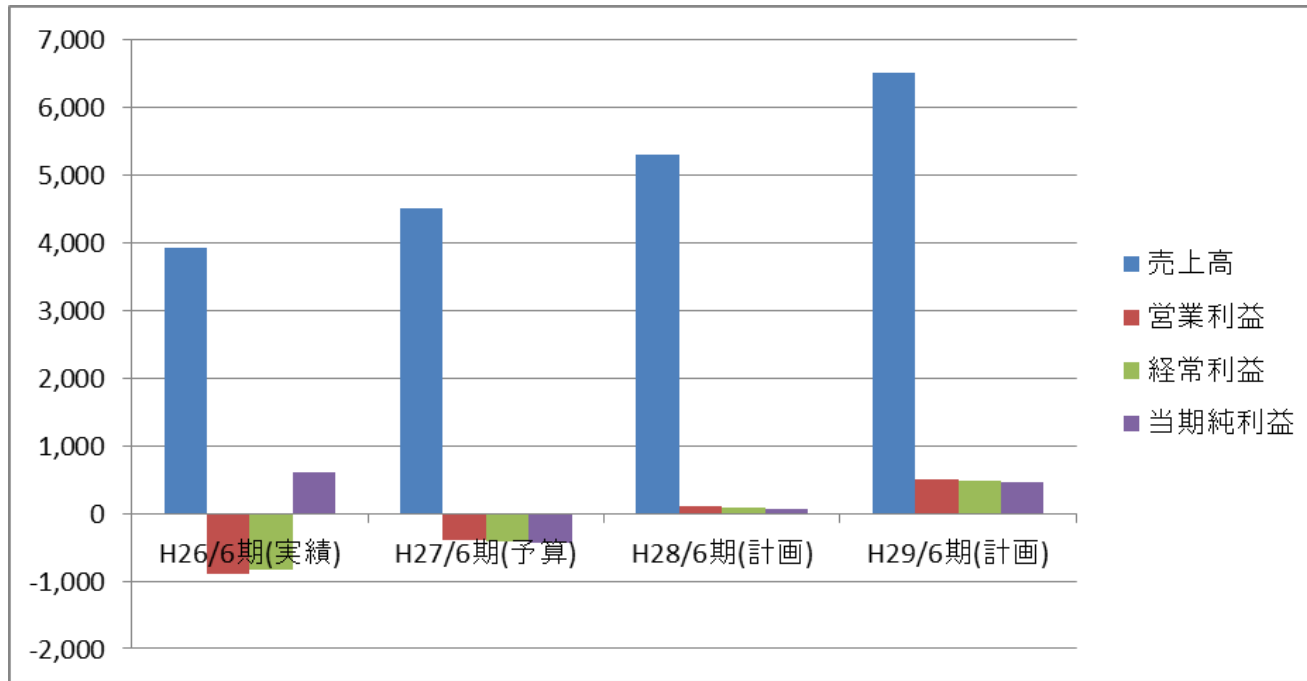
*Jain PharmaBiotech, "Molecular Diagnostics", July 2013*



# 中期事業計画(損益計算書)

■売上は3年間で65%の増加を計画し、H28/6期より本格的な事業収益拡大を目指します。

(単位:百万円)



|        | 平成26/6期(実績) | 平成27/6期(予算) | 平成28/6期(計画) | 平成29/6期(計画) |
|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|        | 百万円         | 百万円         | 百万円         | 百万円         |
| 売上高    | 3,921       | 4,500       | 5,300       | 6,500       |
| 営業利益   | -891        | -400        | 100         | 500         |
| 経常利益   | -826        | -420        | 80          | 480         |
| 当期純利益* | 611         | -440        | 60          | 460         |

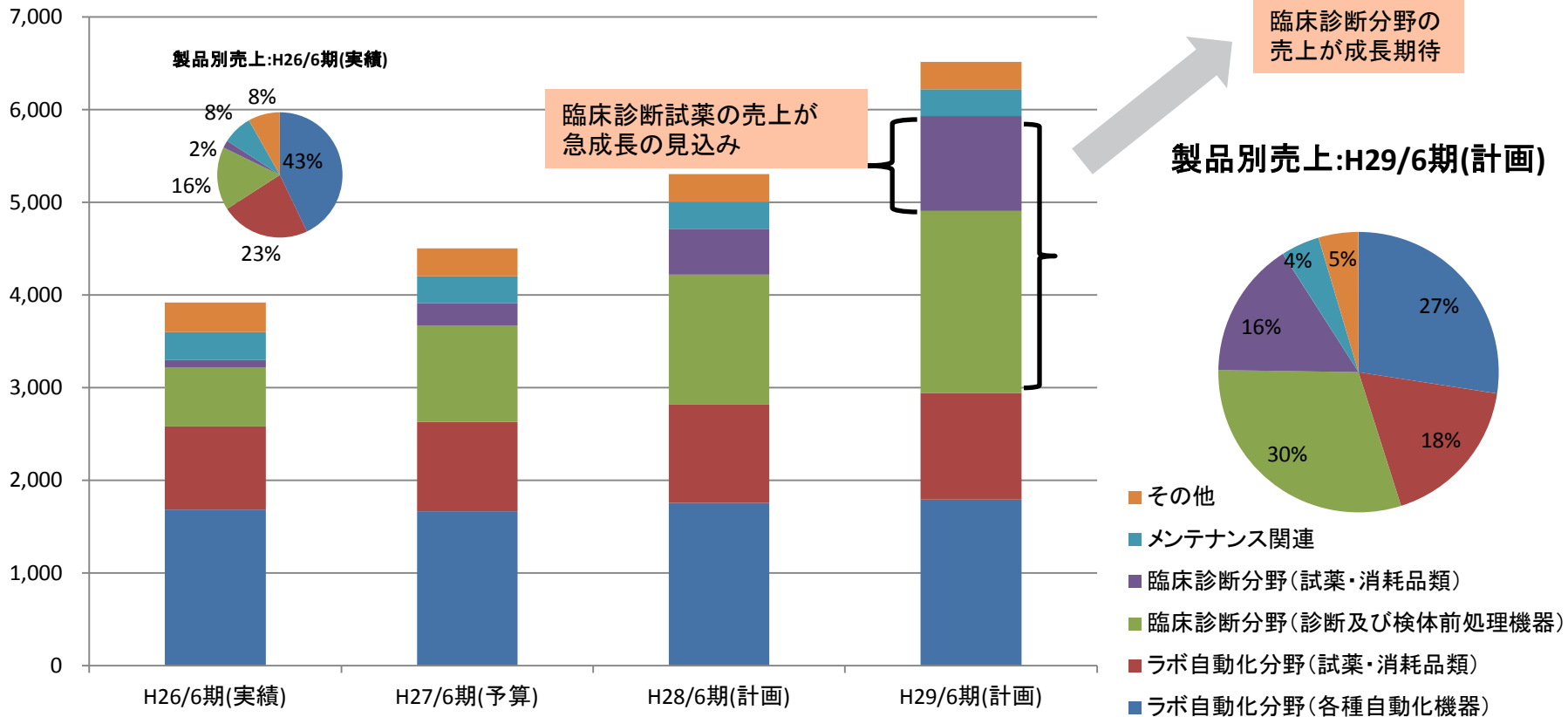
(為替の見通しは、1ドル=100円、1ユーロ=135円にて算定しております。)

\*有価証券株式売却益につき、別途、特別利益に計上(H26/6期)

# 中期事業計画(分野別売上)

■今後3年間臨床診断分野の売上成長が期待され、特に臨床診断試薬の売上が急成長の見込みです。

(単位:百万円)



# PSSがターゲットとするオリジナル試薬開発項目

| 試験項目                 | 搭載機器      | 解析対象         | 検査項目概要   |
|----------------------|-----------|--------------|--|
| スティーブンジョンソン症候群 (SJS) | LuBEA®    | SNPs (遺伝子多型) | 投与された薬剤により起きる重篤な副作用である、スティーブンジョンソン症候群 (重症薬疹) の発症予測。遺伝子多型の判定により予測が可能。 |
| デング熱                 | geneLEAD® | ウイルス遺伝子      | デング熱の原因となる、デングウイルスの診断。   |
| B型肝炎ウイルス             | LuBEA®    | ウイルスタンパク     | B型肝炎ウイルスの遺伝子型を決定することで、ウイルス型に適した治療方針の選択が可能。                           |
|                      | geneLEAD® | ウイルス遺伝子検出    | ウイルス自身の高感度検出により、HBVオカルト感染に起因する劇症肝炎のモニタリングにも適応可能。                     |
| 抗ガン剤                 | LuBEA®    | 遺伝子変異、遺伝子多型  | がん細胞における遺伝子変異を調べることで、抗がん剤の効果予測が可能。                                   |
|                      | geneLEAD® |              | 遺伝子多型を調べることで、副作用の予測、効果予測が可能。   |

# トピックス(中期事業計画関連)

| 第28期    | 主要なトピックス(2012/7~2013/6)             |
|---------|-------------------------------------|
| 平成24年7月 | エヌピーエス(株) が連結子会社に                   |
| 平成25年4月 | ELITechとの共同開発及び販売・供給契約を締結(geneLEAD) |
| 平成25年6月 | アボット社との開発契約を締結(自動細菌検査システム)          |

| 第29期    | トピックス(2013/7~2014/6)  |
|---------|---|
| 平成25年8月 | LGライフサイエンス社との供給・販売契約を締結(geneLEAD)                                 |
| 平成25年8月 | 大館試薬センター建設に関するお知らせ  |
| 平成25年9月 | RocheとPSSが開発する全自動エマルジョンPCR装置に関して新たな開発契約を締結                        |
| 平成26年5月 | PSSの子会社、ジェネティンが、NEDO新規プロジェクト「再生医療の産業化に向けた細胞製造・加工システムの開発」の委託先として採択 |
| 平成26年6月 | 大館試薬センター竣工式   |
| 平成26年6月 | NEDOプロジェクト「体液中マイクロRNA測定技術基盤開発」の委託先として採択                           |

# トピックス(中期事業計画関連)

| 第30期          | トピックス及び今後の予定(2014/7~2015/6)          |
|---------------|--------------------------------------|
| 平成26年7月       | 新組織体制                                |
| 平成26年8月       | 米国Rokaと食品検査向け遺伝子検査システムについてOEM供給契約を締結 |
| 平成26年12月 (予定) | P S S 新規事業 (新製品) 説明会のご案内             |

| 東京開催  |   |
|---|---|
| 開催日時  | 平成 26 年 12 月 3 日 (水) 15:00~17:00 (予定) <sup>*1</sup>   |
| 会場  | 東京証券会館 8F ホール<br>東京都中央区日本橋茅場町 1-5-8<br>TEL 03-3667-9210   |
| 内容  | 代表取締役社長田島秀二よりP S Sの<br>新規事業 (新製品) 展開についてご説明申し上げます。  |
| ご参加<br>申込方法   | 事務局の(株)インベストメントブリッジへお問い合わせ下さい。<br>お問い合わせの方法として、<br>①Eメール ②電話 ③FAXにて対応致します。                          |
| お問い合わせ先   | P S S 新規事業 (新製品) 説明会参加希望<br>①Eメール : pss@cyber-ir.co.jp<br>②電話 : 03-5842-5765<br>③FAX : 03-5842-5767 |
| *1記載しております開催時間につきましては、予定であるため変更される可能性があります。変更された場合には、PSSのWebサイトよりご案内をさせて頂きます。 |   |

# 医療現場で利用を目指すPSSの装置群

geneLEAD XII

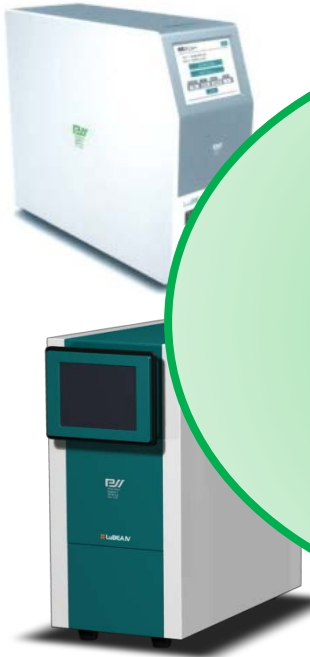


geneLEAD



**遺伝子検査**  
\*ウイルス/バクテリア  
\*薬剤投与前検査  
\*院内感染

LuBEA



**免疫検査**  
\*甲状腺関連ホルモン  
\*ウイルス/バクテリア  
\*サイトカイン

**生化学検査**  
\*凝集反応測定  
\*生化学反応測定

SpeLIA

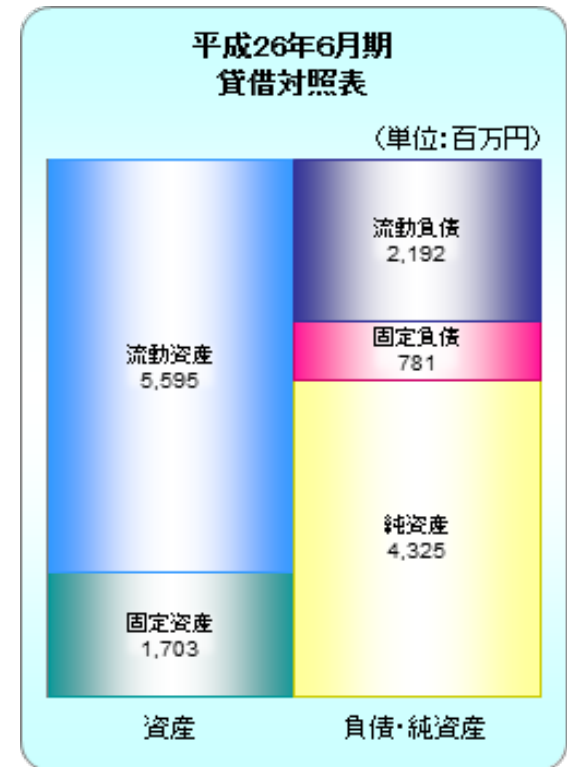


## ➤ 報告事項(計算書類)



## 「連結 貸借対照表」

詳しくはお手もとの  
招集ご通知21~36ページ  
をご覧ください。





## ➤ 決議事項



# 第1号議案

- 剰余金処分の件

(お手もとの招集ご通知 41ページ)

# 第2号議案

- 定款一部変更の件

(お手もとの招集ご通知 41ページ)

# 第3号議案

- 取締役5名選任の件

(お手もとの招集ご通知 42～43ページ)

# 第29回定時株主総会

平成26年9月25日

プレシジョン・システム・サイエンス株式会社

本日は、PSSの第29回定時株主総会にご参加を頂きまして、誠に、ありがとうございます。今後とも、ご理解、ご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

なお、本資料には、当社の計画と見通しを反映した将来予測に関する記述を含んでおります。これらは、本資料作成時において、入手可能な情報に基づいた予想値であり、潜在的なリスクや不確実性が存在しています。そのため、本資料に記載されている将来見通しが、実際の業績と大きく異なる場合があることを、ご承知おきいただきますよう、お願い申し上げます。

平成26年9月25日  
プレシジョン・システム・サイエンス株式会社  
[URL: www.pss.co.jp](http://www.pss.co.jp)

(お問い合わせは、IR・社長室まで)  
電話: 047-303-4800  
メール: [ir@pss.co.jp](mailto:ir@pss.co.jp)